

1学期の成果、そして2学期への期待

校長 中尾善登

年度当初の計画通り、若桜学園は7月21日（火）に1学期終業式を迎え、翌22日（水）から8月24日（月）までの34日間の夏休みに入ります。新型コロナウイルスに振り回された1学期となり休校にもしましたが、ここまで予定通り夏休みを迎えられ安堵しています。どの学年の学習進度も順調です。しかし、休校や「新しい生活様式」対応のため、多くの学校行事やPTA活動を取りやめなければならないことも生じました。混乱の中、保護者の皆様、地域の皆様に支えられ子供たちが学校生活を送ることができています。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、若桜学園の子供たちは、このような状況の中でしたが、自分のやるべきことをしっかりと考え、確実に実行、実践し「なりたい自分」に向かって、自分の成長を目指し仲間とともに高め合うことを続けてきました。様々な制約がある中、授業では、みんなで考える、みんなで学習することを追い求め高め合ってきました。タブレットや電子黒板といったICT機器を有効活用し、一人の考えを教室中に広め、さらなる深い学びになるよう先生方も工夫して授業をしてきました。学期末の子供たちのアンケート結果からも自分の学びをしっかりと振り返りながら、生活面でもあいさつやお手伝いを意識して過ごし満足感を得られているという結果でした。休みが増えたこともあり読書に取り組めた子供たちが増えたことも数字として表れていました。昼休憩の全校遊びや全校草取りもx数回実施することができ、子供たちのたくましさや育っている場面をたくさん見ることができました。今の状況の中で精一杯前進しようとした意義深い1学期であったと思います。



2学期は、制約がある中でも運動会や学習発表会に取り組む計画を立てて、すでに進めています。運動会は、残念ながら半日のみの開催にしなければなりません、限られた時間の中で若桜学園の特徴でもある縦割り班活動を通して、学校教育目標の「つながり 高め合い 自己実現を目指す」教育実践をしていきます。また、豊かな表現力、発信力も目指します。さらなる子供たちの成長を皆様にお見せすることができるものと期待しています。

今後も若桜学園をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。

全校俳句の取り組み

若桜学園では、全校の児童生徒が俳句を作り、鳥取文芸や鳥取県俳句大会に応募し、毎年たくさんの方の入賞者を出しています。夏の俳句には、一年生も初めて取り組みました。各学年の優秀作品を紹介します。



一年生

あまがえる ぴよんぴよんはねて おさんぼさ
すいかさん ぼくひとりでは たべきれない
さくらんぼ ふたつならんで なかよしね

二年生

父の日に ドキドキきめた プレゼント
ながれ星 早く見たいな みんなとね
かたつむり ゆっくりおさんぼ どこ行くの

三年生

キャンプでは 自分で手さぎよう たいへんだ
かぶと虫 早く会いたい 夏よ来い
さくらんぼ おとなりさんが くれたんだ

四年生

かたつむり のっそり歩いて しんちょうだ
向日葵が 太陽むいて わらってる
日やけして 服をぬいたら まっ白だ

五年生

我先に えさを取りたい つばめの子
赤いほほ だれにも負けぬ トマトたち
風鈴や 私の町で 響き合う

千葉 隆太郎

松本 慧宏

志水 楓

小林 央季

川東 忠義

岡本 宰

中本 然

村尾 真優

岡田 龍河

前田 泰太郎

岡本 旺大

福岡 恋色

桑原 瑠奈

中島 果暖

君野 佳那

六年生

父の日に ぼくの貯金で ビール買う
シャツぬげば 日焼けもようで しまうまだ
流れ星 早くコロナを 終わらせて

七年生

風鈴が 音色響かせ 踊る夕
朝顔が 開花する時 ファッションショー
すいか食べ 家族いっしょに 種とぼし

八年生

蛙見て 喜ぶ子供 逃げる母
夏休み 木に蜜ぬって 一人待つ
暑い日に スケボー走らす 夏休み

九年生

風鈴や 手に持つコップ 昼の縁
努力の差 日焼けが語る 練習量
かたつむり めろりのろりと 歩み寄る

大久保 朱生

山根 莉一

森岡 岳大

藤原 遥香

藤原 蓮歌

柚洞 結

野口 奈央

兵頭 樹

山田 七緒

塩村 優衣

山根 永嗣

山根 知弥

お知らせ

【本年度の運動会について】

期日 9月5日(土) 予備日 6日(日) 12日(土)

新しい生活様式の下、演技内容を精選し、午前中開催とします。
昼食(お弁当)は、子供達だけで教室で食べます。
運動会当日のお昼に、校内で探究展(以前の夏休み作品展)を開きます。